

近年、放射線作業に起因しない被ばく記録が増加している。空港の手荷物検査の影響である可能性が高い。

着用開始	着用終了	H1cm	H70um
2023/12/1	2023/12/31	1.7	1.5
2023/11/1	2023/11/30	2.9	2.7
2023/11/1	2023/11/30	0.7	0.7
2022/8/1	2022/8/31	0.3	0.3
2022/5/1	2022/5/31	0.8	0.9
2022/1/1	2022/1/31	0.7	0.6
2021/11/1	2021/11/30	0.2	0.5
2021/6/1	2021/6/30	1.2	1.1
2021/5/1	2021/5/31	1.8	1.8
2020/3/1	2020/3/31	0.1	0.1
2020/2/1	2020/2/29	0.7	0.7
2019/9/1	2019/9/30	0.1	0.1
2019/10/1	2019/10/31	0.8	0.6
2019/10/1	2019/10/31	0.1	0.1

試しにポケット線量計を荷物に入れて手荷物検査を通して見た



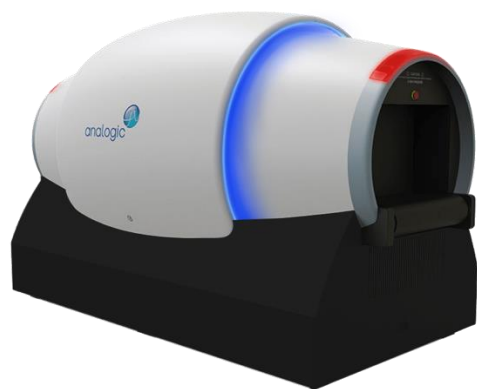
2024/2/14	大阪(伊丹)	0.7
2024/2/17	宮崎	1.4
2024/2/29	大阪(伊丹)	4.1
2024/9/6	東京(羽田)	740.2
2024/9/8	札幌(新千歳)	8.0
2024/9/17	東京(羽田)	893.4
2024/9/19	仙台	10.5

→ 羽田空港での測定値だけ高い

先進的な保安検査機器の運用を開始 ～国内初のCT型機内持込手荷物検査用X線検査装置の運用開始～

国土交通省航空局では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、「テロに強い空港」を目指し、先進的な保安検査機器の導入を推進することにより、検査に係る旅客の負担を抑え、検査の円滑化を図りつつ厳格化を実現する航空保安検査の高度化を図っています。その一環として、下記のとおり、羽田空港国際線ターミナルビル内に『CT(Computed Tomography)型機内持込手荷物検査用X線検査装置(以下「CT機」)』を設置し、4月19日から運用を開始することとなりました。

CT機は、従来からのX線検査装置では使われていなかったCT技術により、全方向からモニタ確認が可能な画像を生成でき、従来の装置よりも高い検知能力を持つとともに高度な解析処理ができる装置です。



Analogic社 Connect



HISSCO社 L-3 Clearscan

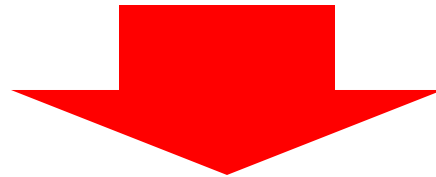


IDSS社 DETECT1000

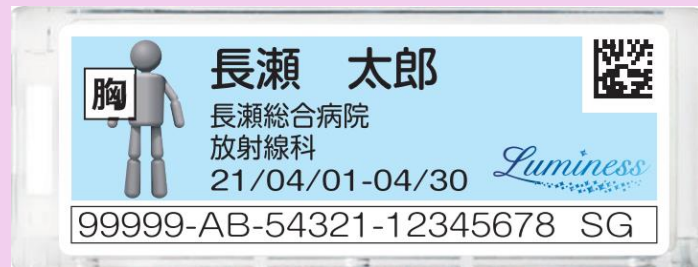
* 写真は各社のWEBサイトから引用

空港保安検査における個人線量計の誤計測

- これまでは、空港保安検査（機内持ち込み）のエックス線は弱く、ISO1600のフィルムであっても感光しないと言われていた。
- 最近、一部空港ではCTスキャナーによる手荷物検査が行われていて、エックス線の照射量が増えている。
- 実際に空港の保安検査による誤計測が発生している。



- 線量管理担当者と相談し、航空機移動があるときは個人線量計を持って行かないことができれば一番良い。
- 手荷物検査の影響であることを示すために、出張先等でも個人線量計を発行してもらえると良い。
- 空港の保安検査が原因で誤計測したときは、ガラスバッジ、ルミネスバッジ、TLDバッジともに実効線量の算定値を修正することが可能である。
- どうしても個人線量計を持って航空機に搭乗するときは、空港検査員に個人線量計であることを説明し、目視検査を依頼する。



これらは、放射線業務従事者の外部被ばくを測定するための個人線量計です。外部被ばくの量を測定することで、従事者の健康管理を行っています。これにエックス線等を照射すると、それが外部被ばく量として測定されるため、従事者の外部被ばくを測定することができません。従って、空港の保安検査においても、エックス線による検査ではなく目視による検査をお願いします。

These are personal dosimeters used to measure the external exposure of radiation workers. By measuring the amount of external exposure, the health of radiation workers is managed. When these are irradiated with X-rays, etc., they are measured as the amount of external exposure, and the external exposure of the workers cannot be measured. Therefore, we request that airport security inspections be conducted visually, not by X-rays.